

2024 年 10 月 2 日

Press Release

アカマイ・テクノロジーズ合同会社

Akamai、API トラフィック分析用のネイティブコネクタを提供 Akamai Connected Cloud との接続で、API の保護をさらに強化

※本リリースは 2024 年 10 月 1 日 (現地時間) にマサチューセッツ州ケンブリッジで発表されたプレスリリースの抄訳版です。

オンラインライフの力となり、守るクラウド企業、Akamai Technologies, Inc. (NASDAQ : AKAM) は、本日、[Akamai API Security](#) と [Akamai Connected Cloud](#) を接続する新たなネイティブコネクタを発表しました。この統合により、お客様は Akamai Connected Cloud のトラフィックのコピーを API Security に直接送信して分析し、攻撃を迅速にブロックできるようになり、API の探索と保護がシンプル化、高速化されます。

Akamai のアプリケーションセキュリティ担当 Senior Vice President 兼 General Manager の Rupesh Chokshi は「急速に変化する今日のデジタル環境では、API はビジネスのイノベーションと成長を促進するために不可欠です。しかし、適切にセキュリティが確保されていないと、API は大きなリスクになる可能性もあります。弊社の新しいネイティブコネクタは、パフォーマンスに影響を与えたり追加のコストを発生させたりすることなく、API トラフィックを可視化して攻撃から保護するための簡単で効果的な方法をお客様に提供します」と述べています。

見落とされがちですが、アプリはどこにでもあり、API はそれらすべてを接続するファブリックを形成しています。組織は、デジタルトランスフォーメーションに対応しつつ、API の重要性が高まっている世界でセキュリティを確保するために、適切な準備を整える必要があります。

Akamai のネイティブコネクタは、企業が API を探索して保護するためのシンプルなオプションを提供し、主に次のようなメリットを生み出します。

- ゼロタッチの素早い展開により、ROI を迅速に創出
- 導入コスト、保守コスト、ネットワークコスト、その他の長期的なコストを発生させずに、総所有コスト (TCO) を削減
- Akamai エッジでのダイレクトブロッキング機能により、迅速に攻撃に対処

API Security の主な長所の 1 つはベンダーに依存しないアプローチであり、40 以上のトラフィックソースとの統合が可能です。これには、クラウド環境、API ゲートウェイ、Web アプリケーションファイアウォール (WAF) などが含まれます。組織は高度な API セキュリティ機能を活用しながら、引き続き使い慣れたテクノロジーやツールを柔軟に使用できます。Akamai API Security は、さまざまなトラフィックソースと統合でき、進化するサイバー脅威から API を保護するための包括的で信頼性の高いソリューションを提供します。



ネイティブコネクタは現在、Akamai の 100 社以上のお客様が使用しており、毎月 5,000 億件以上のリクエストを生成する 30 万以上の API を分析しています。このコネクタは 2024 年 10 月 1 日から正式に提供されます。詳細については、<http://www.akamai.com/ja/products/api-security/>をご覧ください。

Akamai について

Akamai はオンラインライフの力となり、守っています。世界中のトップ企業が Akamai を選び、安全なデジタル体験を構築して提供することで、毎日、いつでもどこでも、世界中の人々の人生をより豊かにしています。超分散型のエッジおよびクラウドプラットフォームである [Akamai Connected Cloud](#) は、アプリと体験をユーザーに近づけ、脅威を遠ざけます。Akamai のクラウドコンピューティング、セキュリティ、コンテンツデリバリーの各ソリューションの詳細については、akamai.com および akamai.com/blog をご覧いただくか、[X](#)（旧 Twitter）と [LinkedIn](#) で Akamai Technologies をフォローしてください。

※Akamai と Akamai ロゴは、Akamai Technologies Inc.の商標または登録商標です

※その他、記載されている会社名ならびに組織名、ロゴ、サービス名は、各社の商標または登録商標です

※本プレスリリースの内容は、個別の事例に基づくものであり、個々の状況により変動しうるものです